

Domaine des Croix

ドメーヌ・デ・クロワ



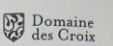









わずか22歳で、150年近い歴史を誇る名門ネゴシアン、カミーユ・ジルーの醸造長に抜擢され、現在ブルゴーニュ・ワインの次世代を担う重要生産者として大きく脚光を浴びる、ダヴィッド・クロワのドメーヌ。クロワは1978年、ロワールのトゥール生まれ。ブルゴーニュ大学醸造学部在籍時のコント・アルマンでの研修時代から、その手腕に注目が集まっていた。当ドメーヌの初ヴィンテッジは2005年。ボーヌ1級やコルトンなどを中心に28,000本前後を生産する。畑は認証はないがビオロジック栽培。醸造哲学は「どの年に、どこで採れたブドウか、というエスプリが、飲んだ時に感じられるワインを生むこと」。そのためまず選果を徹底し、収穫時に畑内での選果の後、さらにセラー内で2回、選果を行う情熱を持つ。新樽率はグランクリュでも20~30%に抑制。セラー内での人的介入は発酵温度管理と亜硫酸添加以外はほぼ何も行わず、結果生まれるワインは、温かさ、古典的ニュアンス、洗練度の全てに高貴さをまとっている。







ダヴィッドの根拠地となるボーヌは、連続する丘で形成され、大昔、丘の頂上部に多くの石灰質の地層、表層があった。氷河期が訪れる度に地層が凍結と融解を繰り返し、その過程で地層が割れていった。割れた石灰の層が下層の粘土と混ざり、特有の地層となる。石灰の小石混じりの粘土層が1メートル以上の深さで現れ、その下によりやくジュラ紀の石灰質の層に到達する。



▼全房比率について（2021年3月問い合わせ）

全房比率は、キュヴェやミゼジムによるけれども、10%か50%の範囲。地球温暖化に合わせて、全房比率を上げる傾向にあり果実味と清涼感のバランスをとっている。

全房醗酵は清涼感と骨格を与えるけれども、常にバランスの問題だ。Beaune Rouge 2018に関して言えば、全房比率20%。

 ○Saint Romain Blanc - Combe Bazin サン・ロマン・ブラン コンブ・バザン		備考 2020年に取得した畑で2020VTがファーストヴィンテッジ。
 畑	品種：シャルドネ 位置：標高350m 土壌：粘土・石灰質	
 ○Corton-Charlemagne Grand Cru コルトン＝シャルルマニエ・グラン・クリュ		備考 新樽比率は20%と高くはない。土壌由来のミネラル感と、高い果実の凝縮感と、シュールリー熟成によるふくよかさが、高い次元でまとまっている。
 畑	品種：シャルドネ100% 植樹：1985年、1989年 位置：南東 土壌：泥の多い泥灰土、石灰質	
 ●Bourgogne Rouge ブルゴーニュ・ルーージュ		備考 ブイエ (Pouillet) と呼ばれるサヴィニー・レ・ボーヌ・ヴィラージュから格下げされた区画からの醸造。ほぼ100%除梗し、明るい果実味に仕上げる。
 畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1971年 土壌：水はけの良い砂利、砂質土壌	
 ●Beaune Rouge ボーヌ・ルーージュ		備考 村名「Blanches Fleurs」 & 「Blanchisserie」と1erクリュ「Teurons repliée」と「Tuvilain」4つの畑のブレンド。新樽はなしが、5-10%で、ブドウの果実味を前面に表現。
 畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1957年、1974年、1983年 土壌：粘土・石灰質	
 ●Aloxe Corton Rouge - Les Boutières アロース・コルトン・ルーージュ レ・ブティエール		備考 ショレ・レ・ボーヌや、ペルナン・ヴェルジュレスに隣接する区画。
 畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1955年 土壌：シルトと粘土を多く含む茶褐色の土壌	

	<p align="center">● Savigny-Lès-Beaune Rouge 1er Cru - Les Peuillets サヴィニイ=レ=ボヌ・ルージュ・ブルミエ・クリュ レ・プイエ</p>			備考	<p>区画名は“若木”を意味し、もともとは林だったと考えられる。更には、川の出口が形成した扇状地とも考えられ、砂を多く含んだ土壌。その分水はけがよい。</p>
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1971年 位置：標高245m、南東向き 土壌：砂を多く含む粘土石灰質、下層土は沖積土	醸造		
	<p align="center">● Beaune 1er Cru - Les Cents Vignes ボーヌ・ブルミエ・クリュ レ・サン・ヴィーニュ</p>			備考	<p>区画名は、ボーヌに1250年前から存在するSanvigneという区画名に由来。砂利や小石が多く、とても水はけのよい畑であるという性質上、他よりもやや早期熟成するエリア。どのヴィンテージを飲んでも優しさ、繊細な味わいを基調とするキュヴェ。強さを感じるようなものではなく、まろやかさと包み込むような優しさが特徴の畑。同じ斜面の上方には1級畑のレ・ブレッサンドがある。</p>
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1956年、1968年 土壌：砂質粘土・石灰質	醸造		
	<p align="center">● Beaune 1er Cru - Les Tuvilains ボーヌ・ブルミエ・クリュ レ・テュヴィラン</p>			備考	<p>同じ斜面の上方に1級畑のペルテュイゾがあり、テュヴィランはこの最初の1級畑となる、比較的平地でなだらかな斜面の畑。</p>
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1930年 位置：ボーヌ南部 土壌：茶褐色の粘土質土壌	醸造		
	<p align="center">● Beaune 1er Cru - Les Bressandes ボーヌ・ブルミエ・クリュ レ・ブレッサンド</p>			備考	<p>ブレッサンドとは、13世紀に畑の持ち主であったジャン・ブレッサン(Jean Bressans) から由来とされる。Les Grevesと同じ地層を持ち、同じ斜面の下方には1級畑のレ・サン・ヴィーニュがある。ブルゴーニュでは高度も斜面もある畑のため、非常に筋肉質なストラクチャーのワインができあがる。血を流す動脈というフランス語の言い回しのように、力強さ、男らしい、強さ、張り伸びをもつ。</p>
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1985年、1989年、1993年 位置：標高300m、東向き、傾斜30度 土壌：石灰の小石の混ざった粘土質	醸造		
	<p align="center">● Beaune 1er Cru - Pertuisots ボーヌ・ブルミエ・クリュ ペルテュイゾ</p>			備考	<p>排水溝を意味する区画名だが、斜面の下の方の区画というわけではなく、緩やかな斜面の中腹にある。同じ斜面の下方には1級畑のテュヴィランがある。</p>
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1971年、1987年 土壌：下層にジュラ紀の石灰岩、上層40~50cmは茶褐色の粘土質土壌	醸造		
	<p align="center">● Beaune 1er Cru - Les Grèves ボーヌ・ブルミエ・クリュ レ・グレーヴ</p>			備考	<p>レ・グレーヴ（ブドウ栽培に適した砂地の意味）。ブレッサンドも同じ地層にあり、地質も比較的似ている。ワインになりたてのところから、より複雑味が増して、広がり味わいにもたらず、より複雑なワインと言える。ダヴィッドのワインは更に、緻密なタンニンと長い奥行きが特徴。</p>
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1968年 位置：標高230m 南東向き、傾斜5~15% 土壌：砂利混じりの粘土・石灰質	醸造		

	<p align="center">●Corton Graud Cru - La Vigne au Saint コルトン・グラン・クリュ ラ・ヴィーニュ・オ・サン</p>				
	<p>畑</p> <p>品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1960年 土壌：下層にジュラ紀の石灰岩、上層40~50cmは茶褐色の粘土質土壌</p>	<p>醸造</p>	<p>開放桶で3週間マセレーション 木樽（古樽その内約5%新樽使用）で15か月間熟成後、タンクで6か月間の熟成</p>	<p>備考</p>	<p>コルトンの丘の西側斜面中腹の特級畑。レ・コンブとレ・ショームの1級畑と、特級畑に四方を囲まれている。</p>
	<p align="center">●Corton Graud Cru - Les Grèves コルトン・グラン・クリュ レ・グレーヴ</p>				
	<p>畑</p> <p>品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1960年 土壌：下層にジュラ紀の石灰岩、上層はchaillesと呼ばれる石を多く含む茶褐色の粘土質土壌</p>	<p>醸造</p>	<p>開放桶で3週間マセレーション 木樽（古樽その内約5%新樽使用）で15か月間熟成後、タンクで6か月間の熟成</p>	<p>備考</p>	<p>グレーヴ（ブドウ栽培に適した砂地の意味）の名の通り、砂質を含む土壌。レ・ペリエールと同じ斜面のすぐ真下の区画。</p>